

平成27年度事業報告

1. 会議に関する事項

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
正・副理事長 打 合 せ 会	27. 4. 22	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事 長 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員補選について ・平成27年度常設委員会委員候補者について ・理事会の運営について ・その他
監 事 会	同 上	同 上	監 事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度収支決算に関する事項
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告及び決算等について ・第76回定時総会提出議題について ・平成26年度JAS優良工場決定について ・第62回優良従業員表彰被表彰者決定について
正・副理事長 打 合 せ 会	27. 5. 27	東京都千代田区 「銀行倶楽部」	正・副理事 長 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・役付役員の互選等について ・理事会の運営について ・その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 16名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・第76回定時総会の運営について ・平成27年度委員会等委員の委嘱について ・役員給与規程の改正について ・平成28年総会開催地について ・その他
第76回定時 総会	同 上	同 上	委任状とも 130名	<ul style="list-style-type: none"> ①平成26年度事業報告の件 ②平成26年度決算書等承認の件 ③平成27年度事業計画報告の件 ④平成27年度収支予算報告の件 ⑤入会基準決定の件 ⑥平成27年度加入金決定の件 ⑦平成27年度会費及び徴収方法決定の件 ⑧常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑨理事3名退任に伴う補選の件
役付役員互 選理事会	同 上	同 上	理事 17名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・定款第22条に基づく役付役員の選出について
正・副理事長 打 合 せ 会	27. 8. 26	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事 長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会の運営について
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・特定個人情報の適正な取り扱いに関する今後の取組について

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
				・ 会員及び組合員の入会について
正・副理事長 打 合 せ 会	27. 10. 28	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事 長 3名	・ 理事会の運営について
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 3名	・ 経理状況報告について ・ 特定個人情報の適正な取り扱いに 関する基本方針について ・ 特定個人情報取扱規程について ・ 会員及び組合員の入会について
正・副理事長 打 合 せ 会	28. 1. 27	東京都千代田区 「銀行倶楽部」	正・副理事 長 3名	・ 理事会の運営について
理 事 会	同 上	同 上	理事 16名 監事 4名	・ 経理状況報告について ・ 会員の加入及び脱退について ・ WHOの「加工肉の発がん性リス ク」の報道と対応等について ・ TPP大筋合意に伴う要請書の提 出等について
品 質 規 格 専 門 委 員 会	28. 3. 2	ハム・ソーセージ 会 館	委員 10名	・ 加工食品の原料原産地表示の拡大 について ・ 景品表示法に導入される課徴金制 度と公正競争規約について
正・副理事長 打 合 せ 会	28. 3. 30	ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事 長 3名	・ 理事会の運営について ・ その他
理 事 会	同 上	同 上	理事 15名 監事 4名	・ 平成28年度予算の基本方針及び大 綱について ・ 平成28年度収支予算について ・ 経理状況報告について ・ 輸出促進に向けた取組状況につ いて ・ 放射性セシウム自主検査の見直し に係る関係団体の申し合わせに ついて ・ 食品廃棄物の不適正な転売事案の 再発防止のための対応動向につ いて ・ 加工食品の原料原産地表示の拡大 に関する要望について

2. 庶務に関する事項

- (1) 平成27年5月27日、東京都千代田区「銀行倶楽部」において開催の第76回定時総会で理事長の福原康彦氏（福留ハム(株)）、理事の西坂嘉代子氏（(一社)食肉科学技術研究所）及び長谷部 勇氏（(公社)日本食肉協議会）の退任に伴う理事の補選が行われた。その結果、末澤壽

一氏（日本ハム㈱）、菊地 令氏（(公社)日本食肉協議会）、南波利昭氏（(公社)中央畜産会）が選出された。

第76回定時総会に引き続き開催の役付役員互選理事会で役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名が選任された。

理事長：末澤 壽一（新任）

- (2) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定に基づき、平成27年7月2日付けで平成26年度公益目的支出計画実施報告書等を内閣総理大臣に提出した。

3. 会員に関する事項(平成28年3月31日現在)

期 別	会 員 数
前期末現在	143名(正会員甲141名、正会員乙0名、特別会員2名)
新加入者	3名(正会員甲 3名)
脱退者	2名(正会員甲 2名)
今期末現在	144名(正会員甲142名、正会員乙0名、特別会員2名)

(注1) 正会員甲：食肉加工業を主たる事業として経営するもの

正会員乙：食肉加工業を事業の一部として経営するもの

特別会員：食肉加工業に関連を有する者で理事会が承認したもの

4. 事業の概要

- (1) 安全性の確保に関する事業

ア. 総合衛生管理製造過程に関する講習会の開催

会員のHACCPシステムについての理解を深めその推進を図るため、「総合衛生管理製造過程に係る講習会」を前年度に引き続き開催した。

区 分	期 日	会 場	受講者数
基礎編	28. 2. 22～23	東京都渋谷区「石山記念ホール」	74名
専攻編	27. 6. 2～ 4 27. 6. 9～11	東京都渋谷区「石山記念ホール」	75名

- イ. 食品の製造過程の管理の高度化に関する臨時措置法(HACCP手法支援法)に係る指定認定機関の業務について

HACCP手法支援法では、食品製造工場がHACCPシステムを導入し、製造過程の管理の高度化を円滑に図る際の施設設備の整備、又はHACCPシステム導入に向けた前段階での施設設備の整備を支援する。当協会は同法に基づく食肉製品の指定認定機関としての業務を行っているが、平成27年度は高度化計画の申請はなかったが、会員企業の食肉製品製造工場から高度化基盤整備計画の申請が1件あり、認定を行った。

- ウ. 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連機関が

実施する安全性の確保に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

エ. 食品衛生法の改正等に伴う関連情報の収集及び提供

関係省庁等から情報を収集し、会員、消費者等へ新しく正しい情報の提供に努めた。

オ. 食肉加工品の安全性に関する問合せへの対応

会員、消費者等からの問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(2) 品質・製造技術の向上及び規格・表示に関する事業

ア. 初級食肉加工技術講習会の開催

食肉及び食肉加工品に対する理解を深めるため、その種類や製造方法、原料肉の基礎知識、食肉の科学並びに衛生管理に関する講義及び製造実習を5日間に亘り実施した。

期 日	会 場	講 師	受講者数
28. 1. 25～29	日本大学生物資源科学部湘南校舎	岡山高秀氏他	49名

イ. 食品等関連機関の主催するセミナー等への参加

農林水産省、厚生労働省、公正取引委員会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(一財)食品産業センター、(公社)日本食肉協議会、(公社)中央畜産会、(一社)日本農林規格協会を始めとする食品等関連団体が実施する品質や規格・表示に関する講習会等を通じて情報の収集を行い、会員、消費者等に情報を提供した。

ウ. 品質等管理優良事例の表彰

JAS認定製造業者のうち年間を通じて格付業務並びに品質管理が優秀であった上位31工場並びに当該工場の品質管理担当者、格付担当者に対し、総会席上において表彰状及び記念品を贈呈した。

エ. 消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せへの対応

消費者等からの品質・規格・表示等に関する問合せに対し、正しい情報の提供に努めた。

(3) 普及啓発に関する事業

消費者への食肉加工品に関する正しい知識の普及啓発を目的として、日本ハム・ソーセージ工業協同組合（以下「ハム組合」という。）及びハム・ソーセージ類公正取引協議会（以下「公取協」という。）が行う次の事業の実施に協力した。

ア. 記事広告の制作及び雑誌への掲載

- ① 生活情報誌「オレンジページ」に、平成27年10月、11月、12月で、カラー2ページ(見開き)の計4パターンのイメージ広告を制作、掲載した。

広告の内容	発売日
情報知識：パッケージ表示 (レシピ：ハム・ソーセージ・ベーコンを使った弁当)	平成27年10月2日
情報知識：ハム・ソーセージ・ベーコンの栄養価 (レシピ：ベーコンを使った朝食)	平成27年11月2日
情報知識：ハム・ソーセージ・ベーコンの種類 (レシピ：ハムを使った年末のおもてなし料理)	平成27年12月2日

イ. 冊子の作成及び配布

見開きA4サイズカラー16ページの冊子「ハムソベは食卓のヒーロー（親子編）」と「すこやかハムソベ三世代の健康と安全のお話（健康編）」を各4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

ウ. 催事への協賛・協力

食肉加工業界の発展に資するため、次の催事に協賛・協力した。

- ① 平成27年4月15日から17日までの3日間東京ビッグサイトにおいて開催された「2015食肉産業展」に協賛・出展した。
- ② 平成27年6月9日から12日までの4日間東京ビッグサイトにおいて開催された(一社)日本食品機械工業会主催の「2015国際食品工業展(FOOMA JAPAN 2015)」に協賛・協力した。
- ③ 平成27年10月10日から11日まで開催された(公財)日本食肉流通センター主催の「第34回ちくさんフードフェア2015」に協賛・協力した。
- ④ 平成28年3月9日から11日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第8回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛・協力した。

エ. 加工情報誌の発刊等

食肉加工業に関する時事、経営、技術のほか統計資料等に関する情報を編集した「日本食肉加工情報」を毎月1回発行し、会員及び関係官公庁、団体、学校、その他に広く配布した。

(4) 経営の改善等に関する事業

ア. ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能検定の推進と実施協力

平成27年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定について、ハム組合、食肉科研及び公取協と連携して実技試験の実施に協力した。平成28年1月24日に学科試験、2月6日、7日に実技試験が行われた結果、1級43名、2級44名が「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」となった。

イ. TPP協定に関する説明会の開催等について

TPP交渉の大筋合意を受け、平成27年10月19日、全国家電会館（文京区）5階「講堂」において、TPP協定に関する説明会を開催した（参加者約100名）。農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課より「TPP農林水産物市場アクセス交渉の結果」について説明があり質疑応答を行った。

また、大筋合意の内容は、輸入食肉加工品の関税撤廃を最終的に認めるものとなっており、極めて厳しい経営環境に置かれることが懸念されるため、平成27年11月16日付けで農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課長あて「要請書」を提出した。

ウ. 加工食品の原料原産地表示拡大への対応について

加工食品の原料原産地表示の拡大について、消費者庁及び農林水産省が設置した「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会」及び自民党の「農林水産業骨太方針策定PT（小泉進次郎委員長）」での検討状況や論点を踏まえ、平成28年3月30日付けで農林

水産大臣に対し「要望書」を提出した。

エ. 環境自主行動計画について

2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る平成27年度（平成26年度実績）フォローアップ調査を実施し、その調査結果を平成27年11月2日に農林水産省へ報告するとともにハム組合ホームページに掲載した。

オ. ハム・ソーセージ類に係る容器包装のリサイクル識別マーク及び材質表示ガイドラインの見直しについて

多種多様な製品を取扱うハム・ソーセージ業界においては、プラスチックの材質変更時に包材のロスが生じやすいこと、また近年、塩素系フィルムのダイオキシン排出量が大きく減少しているなど、現行のガイドラインを取巻く環境が大きく変化していることから、平成27年10月1日に環境専門委員会、10月9日に環境委員会をそれぞれ開催して本ガイドラインの見直しを行い、11月2日付けで材質表示を任意とするとともに材質表示の標記方法を一部削除する内容の改正ガイドラインを会員に通知した。

カ. 輸出促進検討専門委員会の設置について

T P P大筋合意及び総合的なT P P関連政策大綱を受けて、食肉加工品の国内生産基盤の拡充を図るため、原料対策委員会の下部委員会として「輸出促進検討専門委員会」を設置し、輸出環境の基礎的条件の把握や輸出先国の市場可能性等について情報収集し、分析・検討を行うこととした。

キ. 食肉等の輸入動向について

牛肉で日豪E P Aに基づく関税引き下げを踏まえた4月以降への通関繰り延べ等のトピック・影響等について、「食肉に関する情報交換会」を開催し（合計10回）、情報・意見交換を行った。

(5) 食肉加工業に関連する法令の改正等に伴う情報の収集及び提供

食肉製品に係る法令（食品表示法、JAS法、食品衛生法、健康増進法及び景品表示法等）の改正等の情報を収集し、必要に応じて会員に関係資料を送付、周知を図った。

(6) 食肉加工関係功労者の表彰について

会員の従業員として永年勤続し、勤務成績等良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、ハム組合と合同して、30年以上の勤続者に表彰状及び記念品、20年以上の勤続者に表彰状を贈呈した。

被表彰者	30年以上勤続者	大和食品工業株式会社	内田 和之氏	他全81名
	20年以上勤続者	株式会社中西ハム	小宮 薫氏	他全43名

(7) その他

ア. 平成28年のカレンダー及び食肉加工手帳を作成し会員等にそれぞれ配付した。

イ. 会員に対する慶弔について

会員の慶弔に対し、ハム組合と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 1件